

各地区業況アンケート結果（2021年12月調査分）

（2021年12月23日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、12月22日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ76名の回答があり（回答率53.9%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、(数は回答実数)

1. 4割強の企業が前年同月比増

問1】貴社の11月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	21	11	22	11	10	75	76
比率	28%	15%	29%	15%	13%	DI+29	DI+22
売上金額/前年同月比	39	18	10	4	4	75	78
比率	52%	24%	14%	5%	5%	DI+112	DI+72

2. 約8割が黒字

問2】貴社の11月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	34	27	13	1	1	76	78
比率	45%	36%	17%	1%	1%	DI+121	DI+114

3. 全向け先にやや減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て12月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		7	30	13	3	53	-23	-20
民間建設向		13	30	13	6	62	-19	-16
自動車向		2	21	9	6	38	-50	-38
その他需要家向		13	32	14	2	61	-8	+7
仲間取引	1	5	30	16	7	59	-39	-31
計	1	40	143	65	24	273	-26	-18
比率	1%	14%	52%	24%	9%			

4. 低調な需要続く

問4】貴社における向う1月から3月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	19	35	14	6	75	76
比率	1%	25%	47%	19%	8%	DI-7	DI-5

5. 鋼板類の需給、徐々に緩む

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	品種別	A	B	C	D	E		12月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-10	-7	3	-3	-15	0	-3	-14	-9	3	-10	-3	-6	鉄筋用丸鋼		1	22	3	1	27	-15
-10	-11	0	-4	-11	8	4	4	14	25	14	11	6	構造用丸鋼		2	24	3		29	-3
-15	-6	-3	-3	-6	0	0	0	11	21	6	6	6	平角鋼			28	3		31	-10
-3	20	12	21	3	-3	6	23	33	48	41	43	35	H形鋼		8	20	2		30	20
-20	-13	0	12	19	14	24	83	125	140	142	150	139	コラム	6	11	6		1	24	88
-15	-9	-6	-8	-5	-3	6	-6	3	8	9	3	6	小形山形鋼			32	4		36	-11
-14	-9	-6	-11	-11	-6	-3	-9	3	9	9	8	3	中形山形鋼			32	4		36	-11
-17	-13	-3	-11	-11	-6	3	-16	6	8	9	11	6	溝形鋼		2	31	2		35	0
-16	-11	7	-7	-6	0	17	39	50	73	68	65	34	軽量形鋼C形		7	23	1		31	19
-22	-11	5	-5	-5	0	14	17	39	63	33	39	27	軽量形鋼広巾			20	1		21	-5
10	35	108	127	132	148	158	162	166	158	123	110	79	冷延薄板	3	11	14	3		31	45
31	58	105	106	105	100	123	133	133	118	103	83	53	熱延薄板	1	12	19	2		34	35
23	34	114	145	139	134	161	163	162	145	133	127	97	表面処理鋼板	3	15	15	1		34	59
34	75	127	144	143	150	161	168	169	164	126	109	80	酸洗鋼板	3	15	12	3	1	34	47
18	49	89	93	84	95	104	116	113	114	100	76	43	中板	1	12	25	2		40	30
-8	15	33	43	34	36	56	76	102	95	90	83	67	厚板	3	15	19	1		38	53
-18	-9	0	10	22	24	39	67	70	86	68	68	52	極厚板	2	4	13	1		20	35
0	0	6	19	26	13	45	43	64	41	52	41	33	縞板		3	25	1		29	7
-15	-9	8	6	6	15	29	47	57	73	83	71	64	中径角	1	5	27			33	21
-11	-3	-3	-6	0	12	19	32	42	58	58	32	38	ガス管黒		8	27			35	23
-16	-6	-5	0	3	6	20	29	49	61	61	39	38	構造用鋼管		6	26			32	19
-3	9	31	35	34	37	49	57	70	72	64	55	43	計	23	137	460	37	3	660	21

6. 年明けに多少の期待感あるも材料不足等の不安要素あり

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	牛乳の生産調整が決まり、今まで好調であった酪農業界も来年以降は先行きが分からなくなってきた。
	B	北海道は概ね閑散期。丸棒市況は強含み。この環境がどこまで続くのか注視が必要。
	C	冬場の不需要期に入るのが早く、在庫の荷動きが急激に落ち込んでいる。
東北	A	県内地元案件は来期少ない。建設業をはじめ不安を抱え、年を越すことになりそう。その反面、県外全体での物件量は前年並みの見通しでルートのある建設業やファブはそれなりの山積み予定であるが、価格面と調達の不安が非常に大きく問い合わせが増えている。原油の価格を含め、潮目の変化に期待したい。
	B	土木、建築とも引合いは少ない。価格転嫁を図るも競争激化は儲からない。客先業種、品種によってかなりバランスがある。
新潟	A	繁忙期だった薄板は少しずつ落ち着きを取り戻してきた。荷余りまではいかないが、少しずつ市中在庫照会の話が出始めており、中国情勢や輸入材の動向に注視していく必要あり。厚板は県内建築案件も少し動き出したが全体的にはまだ不足を感じる。

新潟	B	部品の入荷問題からの生産調整がまだ続いている。鋼板類のタイト感が緩み、価格転嫁もひと段落ではあるが、特殊鋼の追加値上げを進めていかなければならない。
	C	全体的に動きが落ち着いてきている。冬（1～3月）は特に不透明感があるので情報を共有していきたい。
	D	12月以降の案件や引合いが少なく、先行き不安。
	E	ファブを中心に冬場の仕事を確保しているが量は少ない。春からの見積りも出始めており、成約している物件もあり期待している。
	F	構造用鋼の需要は堅調に推移し入荷も正常な状態に戻りつつある。今年3回目の値上げはほぼ客先の了解を得られた。
	G	鋼材のタイト感はやや一服。薄板系商品は品薄感が薄れてきた。厚板系商品は相変わらずタイト。需要は自動車の減産の影響が大きく、また建築は材料の高騰と納期延長の影響を受けやや需要減の印象。しかし、鋼材価格は簡単に下がらない見通しなので、一服後は需要が戻ると予測する。
神奈川	A	新型コロナ感染拡大の影響により、トラック、ダンプのディーゼルエンジン使用の部品調達難にて1～3月に取り戻し生産予定が不透明な状況である。アジア市況もピークアウトし、足元の需要は落ち着いている。もう一段の価格転嫁の必要性があるも難しい状況にある。
	B	12月に入って工作機械、産業機械の受注が落ちてきているが、引合いは頂けているので、受注に繋げていきたい。民間建設、公共建設は安定して注文を頂ける状況。
	C	半年以上値上げが継続した影響もあり、新規案件が少ない様に感じられる。今後も大きな変化は期待できないが、現状のまま年明けを迎えると予想。
東京	A	材料費の値上りに伴い、再見積りがあり、値上げ幅をみて建築関連の案件が先延ばしになっている。半導体関連は好調に推移している。
	B	信用問題が出てきそうな感あり。
	C	わが社の主力取扱品は磨棒鋼だが、取引先が主に自動車関連会社のため、ご周知のとおり、部品不足（主に東南アジア）と重なり業績は良くない。
	D	土木建設業界が多少上向き傾向。
	E	（店売り）特殊鋼の店売り関連も歯抜けもあるが、メーカーからの入荷状況も2～3ヶ月位遅れている。（ユーザー）建設機械は引き続き好調を維持。
	F	価格転嫁の進捗に伴い売上額は月ごとに数字を上げているが、数量の方は概ね25%減少。輸入材の荷役遅れ、輸出コンテナのブッキング難により先行きの荷動きは更に透明感に欠く状況である。
	G	中小建築物件は低調継続。年が明けたら、多少良くなってくれるのではと期待している。実際の見積り案も多い様な気がするが、今までも延期になったり、計画自体がなくなったりする例があったので不透明である。海外からの輸入材も少しずつ増えている様で船橋港で滞留しているが10～13隻ほどある模様。これが全量荷揚げされたら需給、価格に影響しそうである。
	H	同年前月比の売上がほぼ横ばいになるも粗利は微増となった。値上げが行渡り、ひと段落しそうな感がある。需要も旺盛さを見せ始めたが市況とコロナの状況で直ぐにどちらにでも転びそうな不安定さが残る。
	I	浦安の鉄筋店売りは11月の小口出荷は良かった。秋口、現場はそれなりに動いた。大口物件の直送は様子見。
	J	11月は仕事量も遜増し、年内で2番目の売上となった。しかし、粗利の回復には至っていない。
	K	需要が多少増えてきている。メーカー間の政策の違いにより、値差が見受けられる。また、値下げをしての売込みもあるが、追随せず価格を大事に販売していきたい。

静岡	A	大手ファブの受注量についてプロジェクトと称する案件に関する事は、仕事量の下支えであるが、中小案件の少なさが懸念されている様子。足元に不安はなさそうである。それに伴い大手流通加工業者の営業担当者（幹部）は鉄鋼商品の高騰、品不足による工場稼働率、人件費、設備投資効果等のコストパフォーマンスに不安があると聞く。何のメーカーかは言えないが流通も関係していると思われるが、ロール発注品の納期が飛ばされたようだ。このような状況は年末なので、よくある事とのこと。住宅向け鋼管杭の使用鋼管規格の性能を上げて、軽量化とコストを売りとする輸入材仕様を取りまとめていると聞く。そうなると厳しくなる。不良債権はゼロだが、材料費の高騰の余波はないのだろうか。価格是正、製造コストの見直し、世界的鉄不足、中小物件が少ない等、諸事情はあるも中堅、本決算予想はともに下支えはあるも、中間、本決算予想ともにビッグビジネスの下支えはしっかりメーカー、大手流通ともに握っている。
	B	建築は年明け以上の出件、母材手配はひと段落したが、足元の荷動きに冴えはなく価格転嫁も足踏み状態。部品供給の遅れから地区輸送機関連ユーザーへの影響が広がりつつある。薄板の値上げは、12月に入ってから市中在庫の増加と需要の低さからひと段落してしまった感じである。
石川		半導体をはじめとして、鋼材以外の製品不足や納期不安定、人材不足も含めてモノ造り全体が混沌としている。一時的なものと中期的遅れが感じられるものがあるので、結局、力のある企業が先行できる感じである。モノ造りはいろいろと難しい。建設は足踏み状態だが、公共物件は問題が少ないので安心だが、建築も木造は別として強い者か頭脳を使った者が有利な様子。鉄屋もほぼ同じ様に頭を使った者が生き残る。
富山		延期、中止、遅れ物件が出回り始めたが、公共、上場企業向けが主で中小案件は依然少ない。来年後半へ積算が始まり、工賃以外材料費の記入に各関連業者間で苦慮し、決まらない原因にならないかと心配が募る。
岐阜		価格転嫁は80%達成した感じ。しかし、ユーザーが親会社に対して出来ていない。どうしましょう。
大阪	A	棒鋼の需要動向は堅調。
	B	労働力と仕事量とのバランスを見ると、もっと仕事が増えてもらいたい。やはりコロナの新規感染者の減少により日を追って仕事量は増加傾向にある。
兵庫		仕事量が減っているので、雇用調整助成金を申請したいが、相場が上がっていて対象とならない。
岡山		形鋼がまとまって出ることが多少増えてきた。PLも東ではないが断続的に注文があり、一か月で締めてみるとよく出たとの感想。大阪コイルセンターも「ない、ない」との回答ばかりだったところが、「有り」との返事になってきた。
北九州		秋需も不発。倉の平均簿価は日増しに上がる一方で、なかなか販売価格に転嫁できていない。一部電炉メーカーは今月も値上げを伝えてきているので、販売価格を上げることが急務。
福岡		輸入材入着は低調により鋼板関連の需給タイト化が継続されていたが、海外ミルの輸出シフトが強まれば今後の市況に影響を及ぼしかねない。